山行報告書

| 日時 | 2014年12月20日(土)~23日(火•祭日) | | | 天候 | 12/21晴れのち曇り | 12/22雪 | 12/23晴れ |
|-------|--|-----|--------------|----|-------------|--------|---------|
| 山名 | 北八ヶ岳(天狗岳) | | | | | | |
| CL | 秋山 | 参加者 | 吉永·徳永·熊谷·大久保 | | | | (総勢5名) |
| | | | | | | | |
| (コース) | 20日(土):福岡から東京へ(各自) | | | | | | |
| | 21日(日):渋の湯11:30→2250m地点14:05→黒百合ヒュッテ14:55 | | | | | | |
| | 22日(月): 黒百合ヒュッテ7:15→天狗岳9:45→11:15黒百合ヒュッテ12:15→渋の湯→茅野→上諏訪 | | | | | | |
| | 23日(火): 上諏訪→茅野 蕎麦屋で反省会の後、各自帰福 | | | | | | |

雪山体験のため3泊4日の北八ヶ岳へ。20日土曜日は各自東京へ向かう。熊谷さんは松本へ。新宿で会長のお勧めで 昭和を思い出す飲み屋さんに行き、ほろ酔い良い気分に。明日からの雪山に備えて早めに各自ホテルへ帰り、準備を行う。 21日は渋の湯から登り始めるが、その前にちょっとしたハプニング。タクシーで出発してすぐに落し物があると他のタクシー から連絡。忘れ物を無事受け取って渋の湯へ。天気は晴れ。少しずつ高度を上げてトレースのある登山道を登って行く。 積雪は50~60cmぐらい。途中でアイゼンを付ける。所々急な斜面があるが、比較的歩きやすい。約3時間で黒百合ヒュッテ に到着。手足が徐々に冷たくなっていた所だったので小屋の中の暖かさにホッとする。小屋は数人の登山者が薪ストーブの 前で寛いでいたが、その日の宿泊は20人程度でゆっくりと過ごすことができた。前日は50人いたらしい。 夕食はクリスマスに近いという事でチキンの照り焼きにショートケーキ?に感激。お美味しくいただいた。 22日は天狗岳にピストン。天気は曇り。昨夜降った雪でトレースがなくなっている。取りあえず分岐点まで行こうという事に なり装備を身に着け向かう。小屋の温度計は−15℃。装備は目出帽を類までかぶり、インナーにダウン、その上に雨具、 下はタイツ2枚(冬用)にオーバーパンツ、手袋は3枚はめ、つま先にはつま先カイロを入れる。分岐点からストックをしまい、 ピッケルを用意する。稜線に近づくと風が強くなり、頬が痛くて目出帽を顔全体に覆おうとしたが、手が悴んで上手くいかない。 時折突風が吹き、バランスを崩しそうになる。サングラスは自分の息で曇るので外して歩く。秋山さんのリードでトレースの ない斜面等を登り、ヒュッテを出て約2時間後に天狗岳の頂上に着く。俯いて必死で歩いていたので、秋山さんが握手の ため手を差し伸べられて頂上に着いたと分かり、思わず「やったー!」と歓声を上げた。寒さが厳しいので記念撮影をした後、 直ちに下山。下山後高見石小屋へ行く予定だったが、トレースがないので行くのは断念して渋の湯へ下山する事に決定。 会長希望の諏訪湖畔の温泉へ行く。温泉につかり疲れを癒した。

参加された皆さん、お疲れ様でした。会長やリーダーのおかげで雪山体験ができました。ありがとうございました。 冬山の厳しさも知り、技術の未熟さも感じましした。服装ですが、オーバーズボンのインナーにタイツ2枚は歩きやすく寒さも ほとんど感じませんでした。アンダーに冬山ズボンよりも歩きやすいと思います。上着はゴアテックスの雨具を着用しましたが 内側に少し結露があったので適切ではなかったと反省です。アンダーは徳永さんはメリノウール、熊谷さんはファイントラック を着用、お勧めだそうです。(記:大久保)

特急スーパーあずさ車中からは富士山をはじめ北岳、甲斐駒、鳳凰三山の雪を纏った南アルプス山々。奥秩父の金峰山五丈岩、そして深田久弥の終焉の地・茅ヶ岳の向こうには目指す八ヶ岳連峰を眺め茅野駅に降り立つ。酒を買込み、落し物を回収し予定より約1時間遅れで渋の湯着。渋の湯からの道は凹凸が雪に埋まり無雪期よりも歩き易く、途中まで登山者も多い中、山荘着。この日は好天であったが天狗は黒百合ヒュッテへの到着時間を考慮し明日の楽しみとした。黒百合平の積雪は約1mと例年であれば1月下旬並みに多い。翌22日は早朝より小屋から出れば殆どトレースの無い中、中山峠より天狗を目指す。風雪の中漸く東天狗に辿り着くが殆ど視界も無く西天狗は断念し小屋に戻る。計画当初はニューから白駒池経由のルートで、そして山行直前に中山越えで目指した星座観測とランプの小屋が売りの高見石小屋も他パーティ引き返しの情報で断念。翌日の予定から連泊は無駄と下山し茅野に戻り上諏訪に移動して千人風呂で汗を流し、諏訪湖畔のホテルで美味しい酒と料理に舌鼓を打った。23日は茅野迄戻り駅前の蕎麦屋で反省会の後、駅で解散。晴れた山を眩しく観ながら羽田経由で帰福した。年が変わる頃には右類と鼻周辺の霜焼けも癒えました。登頂日の天候が悪く残念でしたが本州の冬山を味わえたでしょうか?

1人当たり 費用

- 住復の飛行機代+ホテル代1泊:約3万円 ・あすさ回数券(往復):約8,500円 ・ジャンホ・タクシー(茅野駅~渋の湯):約2,700円
- -黒百合ヒュッテ:8,500円 ・バス(渋の湯~茅野駅):1,150円 ・諏訪湖ホテル:12,030円(酒代含まず) その他近郊交通費



参加の皆さんお疲れさまでした。(記:秋山)



